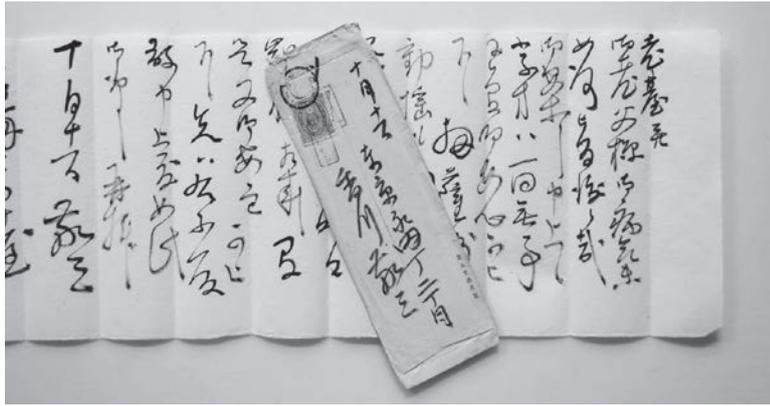




令和3年度常陸大宮市文書館第1回エントランス展示

香川敬三

の手紙Ⅲ



香川敬三書簡(個人蔵)

新たに発見された敬三と娘・志保子の書簡17通



敬三が養子として入った吉田神社(下伊勢畑)

期日

令和3年11月20日(土)

※月曜・祝日休館

～12月26日(日)

午前9時～午後4時30分

入場無料

会期中の毎週日曜日午前10時、午後2時に展示解説を行います(各回40分程度)

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、左記にご協力いただきますようお願いいたします。

- ・体調不良の場合は、来館をお控えください。
- ・来館の際はマスクを着用し、会話はお控えください。
- ・ご入館の際の検温、消毒、ご連絡先等のご記入にご協力ください。
- ・感染症拡大状況により、会期や展示解説等を変更する場合があります。

会場

常陸大宮市文書館
 (常陸大宮市北塩子1721)
 TEL 0295(52)0571



和装の敬三(当館蔵)

香川敬三(一八三九—一九一五)は、下伊勢畑村(常陸大宮市下伊勢畑)の蓮田家の三男に生まれ、同村吉田神社の神官鯉沼家の養子となりました。少年時代に藤田東湖の門人となり、改革派として尊王攘夷運動に身を投じますが、京で岩倉具視に出会い、その後は倒幕を目指して活動することになります。戊辰戦争にも新政府軍として従軍し、維新後は岩倉遣欧使節団への随行を経て宮内省に入り、皇后宮大夫、皇太后宮大夫として明治天皇妃に近侍し、その功により伯爵、従一位に叙されました。故郷を離れたあとも、地元の伊勢畑村に道路改良や学校建設などの資金提供を行い、旧水戸藩士に対してはその復権と顕彰、資金的援助を行うなど、郷土に貢献しました。